

1. 授業の概要(ねらい)

訪日外国人の激増に伴う空前の観光ブームの中、SNSの発展が利用者の選択に大きな影響を与えています。また少子高齢化による労働力不足は、AIの導入を加速させています。

この演習では、宿泊業、飲食業、旅客業、エンターテインメント業など、ホスピタリティ産業のビジネスから、それぞれの興味に沿って自由にテーマを選び、グループに分かれて自主研究を行います。

サブテーマとして、企業人にとって必須の「伝える力」を磨く時間を設けます。企業では業種にかかわらず、顧客対応、商談、マスコミ対応、上司への報告・相談、説明、その他のあらゆる場面で、口頭であるいは文書やメモ、メールで伝えることが求められます。伝える力は回数を重ね、フィードバックを受けることで必ず向上します。そこでさまざまな話題で「発言すること」からはじめ、主にホテルビジネスでの社内外の場面を想定したケーススタディなど、前期は主に「話す力」を、後期は主に「書く力」を養います。

なおゲストスピーカーを招くことがあります。

2. 授業の到達目標

- (1)ホスピタリティ産業の課題を見つけ、改善のきっかけを提案する力が身につきます。
- (2)伝える力が向上します。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須です。発表(評価割合40%)、授業内レポート(評価割合20%)、リアクションペーパー(評価割合20%)、授業への貢献(評価割合20%)により評価されます。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配付します。

5. 準備学修の内容

事前に資料を配付されたら、読んでおきましょう。

6. その他履修上の注意事項

グループワークが中心になるため、出席は必須です。

受講者の上限は、演習の性格上25名を目途としますので、受講を希望する人は、初回のオリエンテーションに出席願います。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 自己紹介、テーマを持ち寄る、グループ分け
- 【第3回】 テーマを決める、グループ分け
- 【第4回】 グループごとの調査・研究①
- 【第5回】 グループごとの調査・研究②
- 【第6回】 グループごとの討議①
- 【第7回】 グループごとの討議②
- 【第8回】 伝える力①
- 【第9回】 グループごとの中間発表
- 【第10回】 グループごとの調査・研究③
- 【第11回】 グループごとの調査・研究④
- 【第12回】 グループごとの研究発表
- 【第13回】 伝える力②
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 全体総括